重要なまちづくりの課題の現状評価シート

重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）	児童館・児童遊園など子どもが安心して遊べる場所がある	
施策名	子どもが安心して遊べる公共の場所を確保する	No.11

年度	平成28年度
責任部長	こども部長
主担当課長	子育て支援課長
関係課	青少年育成課、公園緑地課

1. まちづくり指標の現状

まちづくり指標		指標のめざす方向	現状値	実績値					目標値
			H18	H20	H21	H22	H23	H24	5年後
			H24	H25	H26	H27	H28	H29	10年後
児童館、児童遊園、ちびっ子広場、公園の維持管理数（か所）		↗	―	―	―	―	―	―	―
			511	515	513	516	516		516
子どもが遊ぶのに危険だと感じる遊び場が身近にあると思う人の割合（%）		↘	35.6	32.0	29.7	28.4	28.7	28.2	29.7
			28.2	24.0	26.2	26.2	25.7		23.6
子どもの犯罪・事故の発生件数（件）	①犯罪件数(件)	↘	1,180	1,043	974	1,075	712	675	1,040
			675	642	469	490	498		608
	②事故件数(件)		989	972	809	949	978	948	864
			948	840	859	832	865		770

2. 外的要因（世論、自然環境、社会動向、民間・NPO活動等）

少子高齢化や子どもの遊び方の変化により公園・ちびっ子広場等で遊ぶことが少なくなってきている。一方で幼児を持つ母親等、身近にある公園・ちびっ子広場の利用度は依然として高い。設置から30年以上経過した遊具が多いため老朽化した遊具等の安心・安全のための整備を徹底する必要が生じている。

3. めざすべき姿に対する現状評価（まちづくり指標や外的要因等からの評価）

現状評価	A 改善傾向	「児童館、児童遊園、ちびっ子広場、公園の維持管理数（か所）」は目標値を達成している。他の2つのまちづくり指標についても、年度により多少の増減はあるものの、めざす方向に向けて推移している。

評価がB・Cの場合

4. 事務事業群に対する評価（行政活動の評価）

長期成果（事業群①）	長期成果（事業群②）	長期成果（事業群③）	長期成果（事業群④）

評価観点	1. 長期成果は重要なまちづくりの課題（めざすべき姿）の一歩手前の状態となっており、モレなくダブリなく設定されているか。 2. 各事業群の事務事業は、長期成果を達成するのに必要十分であるか。
評価	
次年度の改善計画	

＊＊＊